



哲學研究

第 四 卷 第 二 十 二 册

第 四 十 五 號

大 正 八 年 十 二 月 一 日 發 行

大正五年四月六日第三種郵便物認可
大正八年十一月二十七日印刷納本(毎月一回一日發行)

山崎闇齋の學說	文學博士	高瀬武次郎
善惡因果の内面觀	齋藤唯信	
價値の體系(二)	法學博士	左右田喜一郎
フイヒテの道德學に就いての考察(承前)		
	文學士	世良壽男
	文學士	高田保馬
拙著「社會學原理」の批評に答ふ		
學會近況、彙報、新著紹介		

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內 部

京 都 哲 學 會



京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
- 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
- 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年參圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	波多野精一
文學博士	西田幾多郎
文學博士	朝永三十郎
文學士	千葉胤成
文學博士	狩野直喜
文學博士	米田庄太郎
文學博士	高瀬武次郎
文學博士	田邊元
文學士	務臺理作
文學士	植田壽藏
文學博士	野上俊夫
文學博士	松本文三郎
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	小西重直
文學士	澤村專太郎
寶嚴方治	

書記

失すると他の學者の主張に對する正當なる理解を持ち得ないで徒らに排他、自尊の弊に陥る危険が伴ふ。それで少くとも學に於て偉人と呼ばれ、オットリテイと崇めらるる様な人の著書は周到なる注意を以て熟讀玩味する必要があるであらう。そして我が國の様には、哲學の點に於て大なるハンディキャップを有する所では、外國語に明るい眞面目な學究の徒に依つて、歐米の偉大なる學者の思想なり、努力なりを忠實に紹介されると言ふ事が極めて重要な亦意氣ある事であると思ふ。而し、夫だけ又紹介者の態度に慎重を要求せねばならない。William James と言へば直ちに「意識の流れ」とか「思想の流れ」とか言ふ言葉を聯想する程、ポピュラーになつて居るがこの思想の色々の方面から見ても偉大な學者について其の全般を理解して居る人は實際に少からうと思はれる。私は、このウイリアム、ジェームズの我國に紹介された事が正に紹介されねばならぬ學者の思想が紹介されたと言ふ感しと、其の一面の事について割合に親しんだとしても全般についてジェームズ其人を何ふ機會の少ないであらうと察せらるゝ我が讀書界に大

に歓迎されるであらうとの豫感の下に本書の出た事を先づ慶賀する。而したゞ一度大意で通讀する暇しか持ち得なかつた私は今茲に詳しい批評をなす非禮をさけて讀過後、紹介者にその人を得たと言ふ感じが残つて居る事を告げて、本書紹介の責を塞ぎたい。(心理學研究會發行、定價五圓貳拾錢、深田武)

寄贈書籍雜誌

自然派の倫理學

文學士 島本愛之助著
日黑書店發行

哲學雜誌、丁西倫講演集、心理研究、東洋哲學、六合雜誌、無盡燈、六條學報、早稻田文學、教育、内外教育評論、教育學術界、教育研究、教育時論、東京教育、奈良縣教育、静岡縣教育、近江教育、岐阜縣教育、三重教育、愛知教育、都市教育、信濃教育、佐賀縣教育、養備教育、長崎縣教育、宮城教育、愛媛教育、中國地學會地學雜誌、學校教育、文化運動。

前號目次

認識主觀の問題	田邊元
宗教的對象と人格觀念	宇野圓空
佛教の預言說	手島文倉
價値の體系(一)	左右田喜一郎
彙報 新著紹介	

定規文註

- ◎會員にあらざる譯讀者の御註文及び廣告に關する件は寶文館へ御申込下され度候
- ◎本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
- ◎振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)寶文館宛に願上候
- ◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- ◎見本御入用の場合は金參拾錢御送り下され度候
- ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

廣告料

一頁 金拾圓 半頁 金六圓

價定

冊	數	定	價	一	郵	稅
六	冊(前金)	金	壹圓八拾錢	不	申	受
十二	冊(前金)	金	參圓六拾錢	不	申	受

告會

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候
 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學 京都市中區
 文學部內 京都哲學會
 振替口座大阪參〇六六參番

賣捌所

(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、
 良明堂、上田屋 (大阪) 盛文館
 (京都) 寶文館 (神戸) 寶文館

發賣元

東京市日本橋區本石町三丁目 寶文館
 大阪市東區淡路町四丁目 寶文館

發行所

東京日本橋區本石町三丁目 寶文館
 (振替口座東京二八〇番)



編輯者 京都帝國大學文學部內 京都哲學會
 右代表者 寶嚴方治
 發行者 大葉久吉
 印刷者 青柳十一郎
 印刷所 秀英舎第一工場

東京市日本橋區本石町三丁目
 東京市牛込區市谷加賀町一丁目
 東京市牛込區市谷加賀町一丁目

大正八年十一月二十七日印刷納本
 大正八年十二月一日發行
 第四十五號 第四卷
 第十二册

◀ 著名の讀必下刻 ▶

廣島高等師範學校教授 文學士 高田保馬著

最新刊

社會學的研究

布裝全壹册
定價金貳圓
送料金八十錢

著者、社會學の研鑽に従事せらるゝこと既に十年、常に斯學の純理に没頭して、其發達の趨勢に後れざらんと努力せられたり。本書は其間に成れる苦心の勞作十二章を收む。冷靜氷の如き理論に包むに、人類の愛、詩的情熱を以てする所、一卷の特色にして、又充分に著者の學風を味ふに足るべし。特に又大戰の終結と共に、世界に於ける社會組織の變革將に近からんとす、此時勢の必要に應じて、社會の根本的性質を明かにし、社會的思潮の眞髓を味はむとする人士にとりては、最も有益なる大文字なり。

本書の要目

- 一 社會進化論の性質
- 二 社會法則の性質
- 三 統計的方法と歸納法
- 四 生死減少逆行の法則
- 五 貧富と出生率
- 六 分離論
- 七 社會的定量の法則
- 八 分業について
- 九 家族の將來と社會の團結
- 十 資本家的集積說の研究
- 十一 優生學是非
- 十二 現代文明の迷妄―生産政策の否定